



ATA



愛知県トライアスロン協会

一般社団法人 愛知県トライアスロン協会

2021年度 定時社員総会

2022年6月4日（土）13：00～

フジコミュニティセンター
（名古屋市中村区黄金通一丁目18番地）



◆議長挨拶

◆事務局報告

- ・定足数の確認
- ・議事録署名人の選出

◆審議

- 議題 1 : 2021年度事業報告
- 議題 2 : 同 決算報告
- 議題 3 : 2022年度事業計画（案）
- 議題 4 : 同 予算（案）

◆総会資料

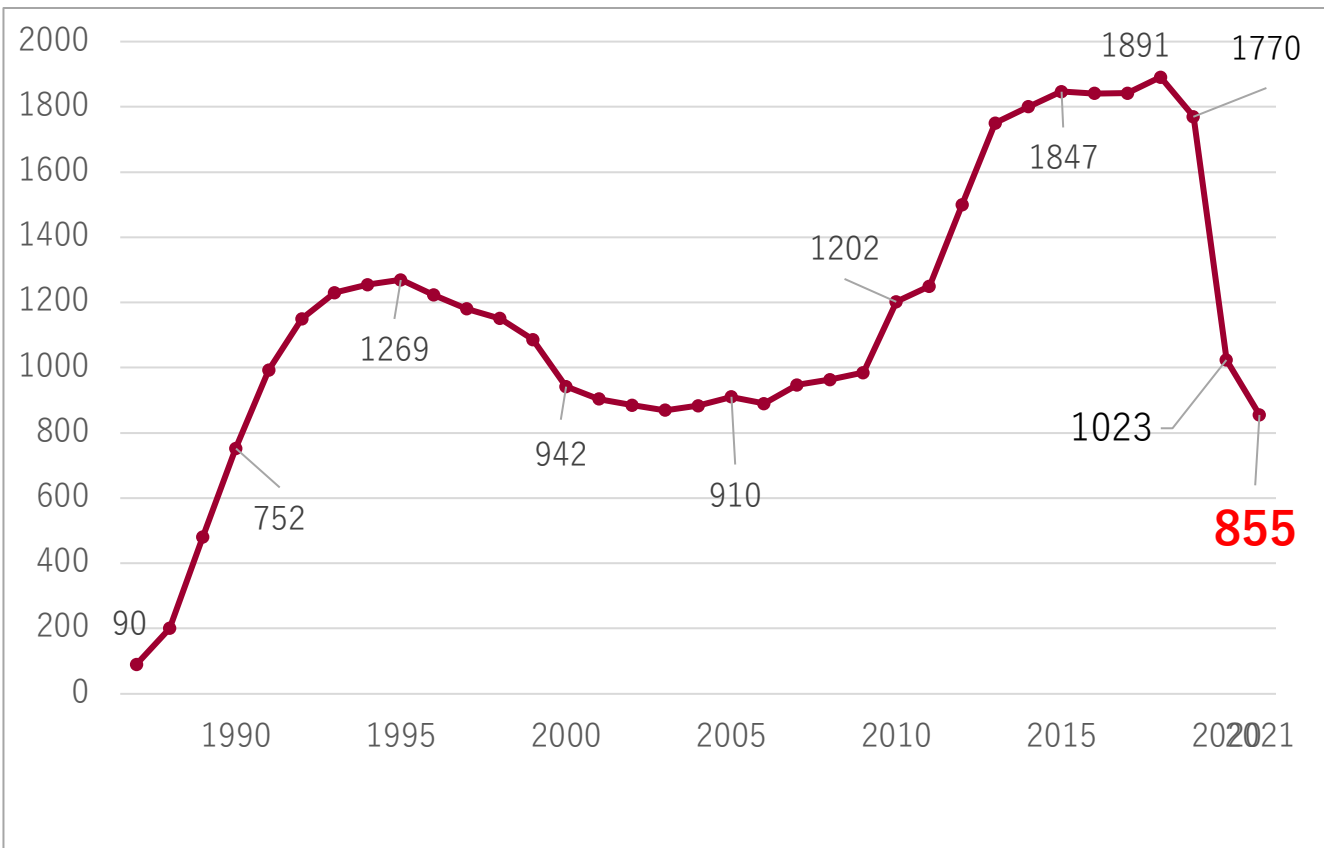
- ・本資料 「2021年度定時社員総会資料」
- ・別紙 1 「貸借対照表」「正味財産増減計算書」「附属明細書」
- ・別紙 2 「収支予算書（正味財産増減計算書ベース）」
- ・別紙 3 「監査報告書」



◆会員数：3月末現在 **855名（対前年▲168名）**

- ・ コロナ影響を受けて減少傾向が続き、コロナ前の2019年度末（=1770名）と比較すると約半減の状況。
- ・ しかしながら、2022年度大会が順次再開の方向で動いているため、今後の回復に期待（**2022年5月15日現在：1089名**）

【会員数の推移】



【会員内訳の変化】

会員区分	2018 年度末	2019 年度末	2020 年度末	2021 年度末	
ジュニア	69名	65名	37名	32名	▲5名
高校生	18名	16名	14名	13名	▲1名
一般	1,708名	1587名	901名	740名	▲161名
審判	96名	102名	71名	70名	▲1名
計	1,891名	1,770名	1,023名	855名	▲168名



◆競技事業

- ・コロナ影響が続く中、トライアスロン2大会（蒲郡、伊良湖）は中止となったが、アクアスロン2大会（小野浦、ラグーナビーチ）については、地元行政および関係者のご理解とご協力のもと開催することができた。
- ・なお、開催にあたっては、感染拡大防止のためにJTU作成の運用ガイドラインを遵守。

月日	大会名	参加選手数
6月20日	【中止】 第33回蒲郡オレンジトライアスロン大会	—
6月27日	第22回アクアスロン・スプラッシュ&ダッシュin小野浦	195名
8月8日	第10回アクアスロンinラグーナビーチ2020	169名
9月12日	【中止】 2021トライアスロン伊良湖大会（※）	—

※印：当協会が運営協力する大会。それ以外は当協会が主催する大会



◆強化事業

【認定記録会・講習会】

- ・以下のとおり、強化練習会および認定記録会を実施。

月日		参加延べ人数
全国大会向け強化練習会	4月18日、7月11日、3月13日	92名
国体向け強化練習会	8月 8日、9月 5日	26名
JTU認定記録会	7月11日	13名
	3月13日	72名

【ジュニア選手権エントリー費補助】

- ・ジュニア強化選手 **4名**を対象に、選手権エントリー費の一部（**56,000円**）を補助。



◆普及事業

【日本選手権・JTUエイジランキング入賞者への表彰】

- ・全国レベルの大会にて優秀な成績を収めた**12名**を表彰（**副賞総額78,000円**）

大会区分	人数
アジアトライアスロン・パラ選手権	2名
日本U19トライアスロン選手権	2名
JTUエイジランキング	8名

【ATAポイントランキング（エイジ・ジュニア）】

- ・2020年度は大会中止によりATAランキング表彰は実施できなかったが、今年度は3大会（小野浦、ラグーナビーチ、カーフマン東海）を対象に実施し、**58名**を表彰（**副賞総額182,500円**）

カテゴリー	人数
小学生（各学年男女1~3位）	19名
中学生（男女1~3位）	6名
高校生（男女1~3位）	2名
エイジ（各エイジ男女1~3位）	31名



◆審判資格保有者数

・総人数は対前年▲21名の**152名**となったが、新規登録者は**7名**

	人数	第1種	第2種	第3種
2020年度	173名	13名	49名	111名
2021年度	152名	13名	44名	95名
増減	▲21名	0名	▲5名	▲16名

◆活動実績

・下記大会での活動延べ人数は**83名**

月日	大会名	参加人数
6月 6日	東海ブロック選手権	4名
6月27日	アクアスロン・小野浦	26名
8月 8日	アクアスロン・ラグーナビーチ	30名
11月28日	カーフマン東海ステージ	15名

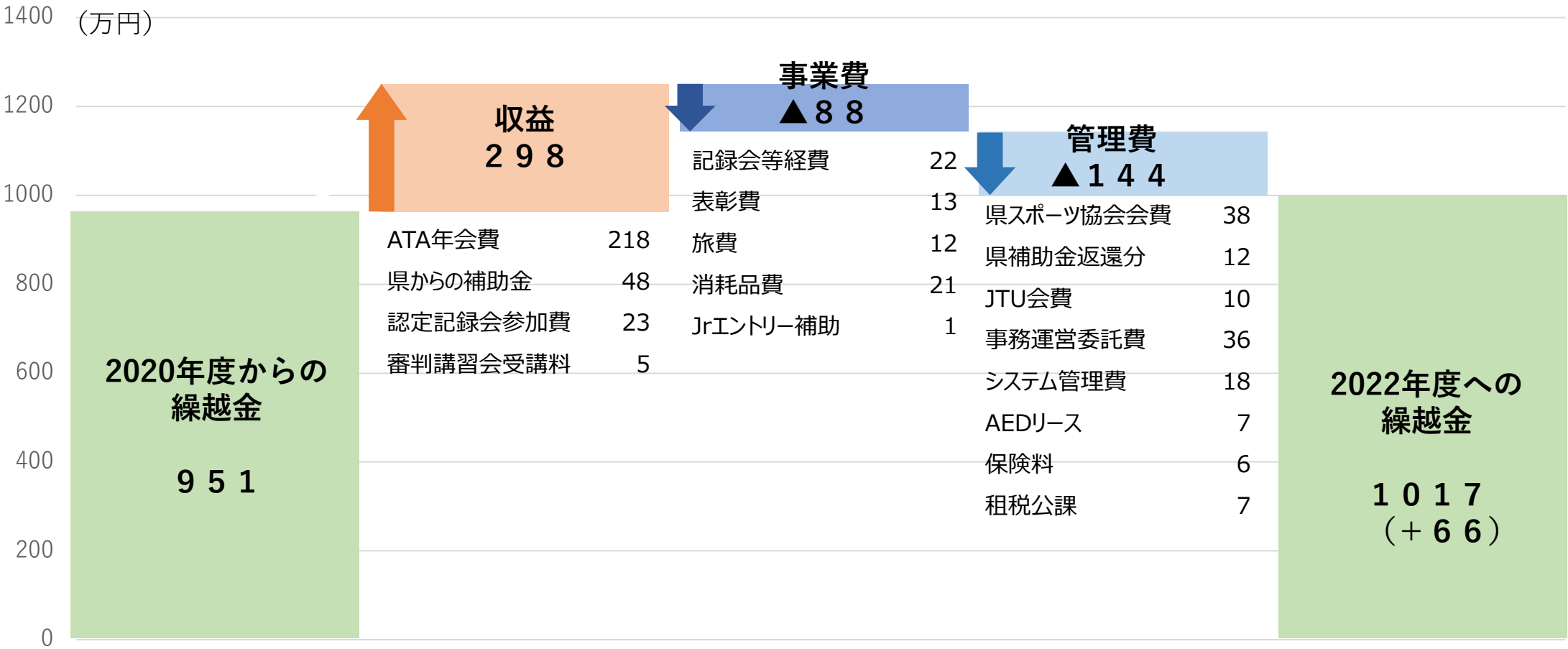
◆「審判員ポイントランキング制度」の導入

・年度当初は審判員の参加モチベーションの向上に資する表彰制度を導入する予定であったが、開催大会数が少なかったことから導入を見送った。



◆決算概況

・会員数の減および大会中止により収入対前年▲71万円減少したが、大会やイベント中止により事業費も対前年▲133万円の減少、管理費は対前年＋10万円の増となり、年間収支としては対前年＋66万円増となった。



※詳細は別紙 1「貸借対照表」「正味財産増減計算書」「附属明細書」のとおり。



◆大会スケジュール

・既存5大会に加えて、**新たにアクアスロン2大会を開催**予定

日時	大会名
5月28日	【新規】アクアスロンinアクアフィールド長良川（★）
6月19日	蒲郡オレンジトライアスロン大会
6月26日	アクアスロン・スプラッシュ&ダッシュin小野浦（★）
8月 7日	アクアスロンinラグーナビーチ（★）
8月14日	キッズトライアスロンin西尾一色（※）
9月 4日	トライアスロン伊良湖大会（※）
10月 2日	【新規】Kirakiraアクアスロンinワイキキビーチ（★）

※印：当協会が運営協力する大会。
それ以外は当協会が主催する大会

★印：ATAアクアスロンチャンピオンシップ
シリーズ対象大会

◆強化事業

- ・2022年5月22日にJTU認定記録会を開催
- ・これまで同様に、国体に向けて強化対象選手を選抜し、強化練習会を開催する
- ・ジュニア強化選手の選手権エントリー費補助は継続実施



◆普及事業

- ・ATAポイントランキング（エイジ・ジュニア）を継続。
- ・競技人口の底上げ（特にジュニア）を目的に「**ATAアクアスロンチャンピオンシップシリーズ**」を新設。当協会が主管するアクアスロン4大会をシリーズ化して年間チャンピオンを決定。
- ・コロナにより2年間のブランクがある選手が多いことから、安全意識向上を目的に、ウェットスーツ着用の講習会を開催（5月15日）

◆審判

・「**審判員ポイントランキング制度**」の導入

2021年度は開催大会数が少なかったことから実施を見送ったが、2022年度は複数大会の開催が見込まれることから実施する。

＜概要＞ 審判員の参加モチベーションの向上のため、表彰制度を新設するとともに、参加回数に応じてポイントを付与して表彰および審判限定会員登録への資格付与に活用する。

（1）表彰

ア 対象者 : ①年間ポイントランキングの上位者、②事故等の回避や救助等、現場の功績が大きかった者
（ただし、当協会理事およびJTU第1種公認審判員を除く）

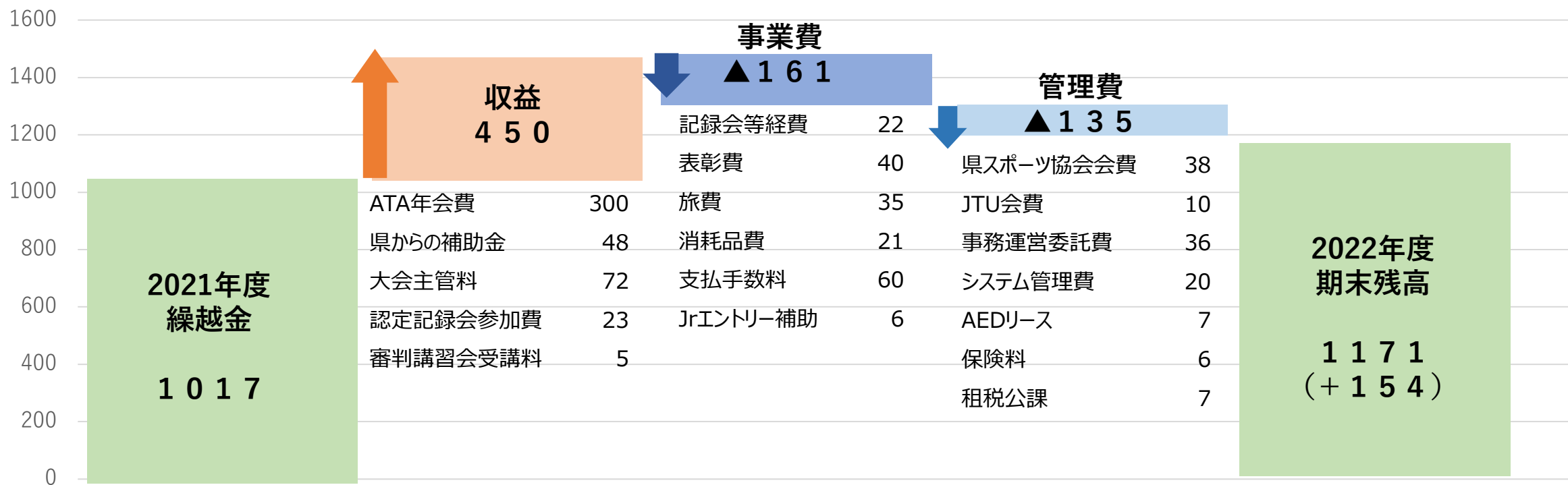
イ 表彰方法：賞状および副賞品の授与

（2）審判限定会員登録への資格付与

- ・2ポイント（参加大会数＝ポイント数）以上獲得した者は、2023年度JTU登録「審判限定会員」の対象とする。

◆ 予算案

- ・経常収益：会員数は2021年度対比1.4倍の1200名と想定し、予定7大会がすべて開催される前提で大会主管料72万円を計上し、前年度 + 152万円の**450万円**の見込み。
- ・経常費用：事業費は、大会開催にかかる経費として + 25万円、新規施策「ATAアクアスロンチャンピオンシップリーグ」「審判ポイントランキング」に + 28万円、国体旅費（栃木）を + 25万円計上し、対前年 + 73万円の**161万円**の見込み。
管理費については、ほぼ前年並みの135万円の見込み。
- ・収 支：上記より**単年度収支は対前年 + 154万円、期末残高は1171万円**となる見込み。



※詳細は別紙 2「収支予算書（正味財産増減計算書ベース）」のとお